



御菌中だより

清 流

令和8年9月4日

令和8年度 伊勢市立御菌中学校
第9号 伊勢市磯町2225

文責 校長 谷口 北斗

教育目標「心豊かで たくましく 今日を生きぬく 御菌中学生の育成」 Tel. 36-5139 Fax. 36-4701

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について！

今年度も3年生を対象に、4月22日（水）・23日（木）、5月7日（木）に全国学力・学習状況調査を行いました。内容は国語・数学・英語（技能&話すこと）と「生徒質問紙」による普段の生活の様子や学習への取り組み方についての調査がありました。その結果が明らかになりましたので、ここでお知らせいたします。

【教科の結果】（国語と数学は平均正答率：％、英語は平均正答数）

	国 語	数 学	英 語（聞く&読む・書く）※正答数
本 校	72	69	4.4（1.2/2 & 3.2/5）
三重県	62	56	3.6（1.1/2 & 2.5/5）
全 国	63.9	57.0	3.7（1.2/2 & 2.5/5）

今年度の本校の平均正答率（国語・数学）と平均正答数（英語）の結果は、上記の通りです。見ての通り、全般的に本校の結果は県平均、全国平均を大幅に上回っています。まず、国語の平均正答率では全国平均に対して+8.1%、三重県の+10%であり、数学の平均正答率で全国平均の+12%、三重県の+13%、また英語については、平均正答数（7点中）が全国平均の3.7、三重県の3.6に対して4.4という結果でした。このように、3教科とも県・全国と比べて大きく上回る結果となりました。はっきりとは言えませんが、この御菌中学校の結果は県下でも上位に位置するものと思われます。別にこの全国学力・学習状況調査というものは、平均正答率や平均正答数を競い合うものではないので、昨年度の結果と比較して、一喜一憂するものではありません。ましてや毎年この調査（テスト）を受ける生徒は変わるので、単純に比較しても意味はありません。



しかし、この3年生が素晴らしい結果を出したことには大きな意味があると思います。思い返せば2年前、現在の3年生が1年生の頃の10月に、「学習規律の乱れ」が取り上げられました。特定の授業において、授業が成立しないくらい、授業態度の乱れが問題となりました。そこから生徒のみなさんの授業に対する姿勢の変化や先生方の取り組みなどにより、大きく改善されたことは誰もが認めることだと思います。

つまり今回の好結果は、「授業を大切にする」という当たり前の環境が出来たからに過ぎません。生徒一人ひとりの意識が変わったことの現れであると思います。この成功体験は今後の御菌中学校の生徒だけでなく、我々教職員にとっても大きな自信や励みになったことだと思います。そういう意味では本当に価値ある結果となったと感じています。

全体的に素晴らしい結果の中に反省点を上げるとすれば、細かいところを見ると、英語では「客との会話を聞き、注文したものを選択する」という問題や、「職場体験の発表を聴き、その後に示された絵を体験順に並べる」といった問題につまづく生徒が多かったのが課題であるといえます。また国語においては「文章の段落の関係を明確にし、文章の展開の意図を説明したものを選択する」という問題がやや全国・県平均を下回ったのみでした。数学においては、「反比例の表において、xの値に対応するyの

値を求める」という問題が全国・県平均を下回ったのみでした。3教科とも小さな課題こそあれども、ほぼ全般によくできていたと言えます。生徒の頑張りはもちろんのこと、先生方の授業改善や授業規律の徹底のおかげだと思っています。ありがとうございました。

今後も本校の修正すべき課題を整理し、授業改善につなげていきます。また生徒個々についても個人の結果をまとめた個票をお渡しする予定ですので、各ご家庭において振り返りの機会を設けていただければと思います。

他に全国学力・学習状況調査では、今回の「国語・数学・英語」の他に、「生徒質問紙」ということで、自分の生活等を見つめ直すものもありました。それについての結果と分析については次号で紹介したいと思います。

中学生のメッセージ2026

先日8月22日（土）に、いせトピアにおいて、「中学生のメッセージ2026」（少年の主張三重県大会）が開催されました。三重県下の様々な地域から集まった14人の中学生が、社会や世界に向けての意見や身の回りや友達についての出来事に対する意見や感想などを発表する場で、ここでの優秀賞に選ばれた場合、全国大会へとつながることにもなる大会でもあります。またこの大会は三重県において毎年様々な地区で行われており、この伊勢市においても9年ぶりに開催される大きなイベントとなりました。そんな大きな規模のイベントということで、大会運営に伊勢市だけでなく、その周辺地域（度会郡・鳥羽市・志摩市）からもスタッフとして多くの中学生が参加しました。

本校からも、3年生の高橋実紅さんと松崎瑚子さんが来訪者の案内役として参加し、終日頑張ってくれました。残念ながら本校ばかりでなく、伊勢市内の中学校からも、14人の発表者には選ばれていませんでしたが、大会が成功するための縁の下での力持ちの役割を、高橋さんと松崎さんを始めとする多くの中学生が果たしてくれました。お疲れさまでした。



愛のピアノ

この夏は日本各地でたくさんの災害が起こりました。熊本地震や千葉での豪雨、石川や富山での大規模な浸水、そしてつい先日の福井や青森での大雨…など各地で「これまでに経験したことのない」とか「●●年に一度の」などという言葉がつく気象がクローズアップされました。幸い、この地方では大きな災害につながるような事態にはなっていないものの、災害はいつ起こるかわからない、ということを忘れず備えをしっかりとしていきたいものです。

台風つながりで、夏休みに本校のHPのトピックスにアップしたお話をもう一度紹介したいと思います。

先月、三重県北勢地方にある、ケーブルテレビCCNETの方から、昭和34年に伊勢湾台風の被害にあった県内の学校や施設47か所に対して、アメリカ人夫婦から、アップライトピアノが贈られていて、そのピアノが御菌中学校に現存しているのか？という問い合わせがありました。早速確認してみると、3年生の教室前にあるアップライトピアノの右側面に金色のプレートがあり、そこには「アメリカ映画スターShirely Maclaine、プロデューサーSteve Parker 夫妻が中日新聞社を通じて、県内の伊勢湾台風被害に被災した小中学校にこのピアノを寄贈した…」と書かれていました。そんな貴重なピアノなのです！

